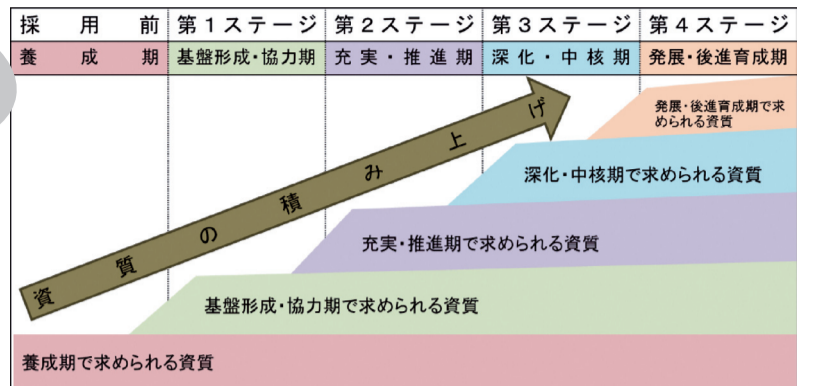


日々の実践や研修に育成指標を活かす

活用チェックリスト

資質の積み上げイメージ図



	採用前 養成期	第1ステージ 基盤形成・協力期	第2ステージ 充実・推進期	第3ステージ 深化・中核期	第4ステージ 発展・後進育成期
ス テ ー ジ	養成期	基盤形成・協力期	充実・推進期	深化・中核期	発展・後進育成期
	教員としての基本的な知識を学ぶとともに、自ら課題を発見して解決する姿勢を身に付ける。	教員として必要な事項について幅広く学び、基盤を固め、協力して取り組む。	経験を基に、資質を充実させ、幅広い視野を持ち、チームとしての取組を推進する。	自身の専門性を深め、学校の中核的存在として力を発揮する。	これまでの教育実践を振り返り、自らの知識や技能を発展させ後進を育成し、学校運営を推進する。
埼玉県の教員として持ち続けてほしい素養	<ul style="list-style-type: none"> 常に自己研鑽に努め、自律的・主体的に学ぶ 教育公務員としての使命を自覚し、高い倫理観と生徒等への教育的愛情を持つ 豊かな人間性やコミュニケーション力・幅広い教養・視野を持ち、家庭や地域など誰とでも協働する 				
保健管理 ¹⁾	生徒等の実態把握と、適切な保健管理の必要性を理解している。	健康診断、救急処置、疾病予防等の保健管理から自校の健康実態を把握し、適切に対応する。保健室が学校保健活動のセンター的役割を担えるよう、日常の保健管理体制を整備し、実践する。	校内において、指導的立場を果たすとともに、把握した健康課題の解決に向けて、組織的に対応する。	学校における救急体制、心のケアの支援体制など、危機管理体制について整備するとともに機能するように働き掛け、学校経営を視野に入れた改善策等を提案する。	保健管理の分野において学校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。
	<input type="checkbox"/> 保健管理の内容がわかる <input type="checkbox"/> 保健管理の必要性がわかる <input type="checkbox"/> 生徒等の実態を把握するための情報や方法がわかる <input type="checkbox"/> 把握した情報を分析する方法がわかる <input type="checkbox"/> 分析した実態を視覚化し、説明する方法がわかる	<input type="checkbox"/> 健康診断、救急処置、疾病予防等の保健管理ができる <input type="checkbox"/> 健康診断、救急処置、疾病予防等から自校の健康課題を読み取ることができる <input type="checkbox"/> 自校の健康課題を学校保健委員会や保健だよりなどで、職員や保護者等に周知することができる <input type="checkbox"/> 生徒等の心身の健康課題解決に必要な情報を収集、整理することができる <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関や関係施設の立地や特色を収集、整理することができる <input type="checkbox"/> 保健教育や健康相談等につなぐことができる	<input type="checkbox"/> 専門的立場から、健康課題を把握し、解決のために校内の中核的役割を果たすことができる <input type="checkbox"/> 保健部や生徒指導部などの校内組織を活かした対応ができる <input type="checkbox"/> 保健主事や特別支援教育コーディネーター・教育相談主任、学校医・学校歯科医・学校薬剤師、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携を図り組織的に対応することができる	<input type="checkbox"/> 学校における救急体制、心のケア支援体制がすぐに機能できるように、「チーム学校」を意識した危機管理体制を整備することができる <input type="checkbox"/> 危機管理体制が機能するように学校内や関係機関と調整を図る等、働き掛けをすることができる <input type="checkbox"/> 危機管理体制に対し、学校経営を視野に入れた課題や改善策を見出し、提案することができる	<input type="checkbox"/> 学校内で指導・助言や適切な情報提供ができる <input type="checkbox"/> 地区の養護教諭部会等、地域において実践発表を行うことができる <input type="checkbox"/> 地区の養護教諭部会等、地域において指導・助言を行うことができる <input type="checkbox"/> 研修会等で講師を務めることができる
保健教育 ²⁾	専門性を生かした養護教諭の役割を理解し保健教育に関わろうとする。	学校の実態にあった計画の必要性を理解した上で、学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実施する。生徒等の実態に応じた保健教育を計画的に実施する。	教育要領・学習指導要領を理解し、生徒等の実態に応じた保健教育を計画、実践、評価、改善し、効果的に推進する。	集団指導と個別指導、保健管理や健康相談等について、相互の関係性を明確にし、学校教育活動全体を視野に入れた保健教育を推進する。課題に対して具体的な改善策を提案する。	保健教育の分野において学校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。
	<input type="checkbox"/> 健康教育(学校保健・学校安全・学校給食)の意義と内容がわかる ³⁾ <input type="checkbox"/> 教育要領(幼稚園)・学習指導要領における保健教育に関する内容がわかる <input type="checkbox"/> 保健教育における専門性を活かした養護教諭の役割がわかる <input type="checkbox"/> 養護教諭が保健教育に参画する方法(資料提供・チームティーチング・兼職発令等)がわかる	<input type="checkbox"/> 学校の実態にあった保健教育の計画の必要性を理解することができる <input type="checkbox"/> 学級担任等と連携し、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実施することができる <input type="checkbox"/> 生徒等の実態に応じた保健教育を計画的に実施することができる	<input type="checkbox"/> 自分が勤務している校種を中心に教育要領(幼稚園)・学習指導要領を理解している <input type="checkbox"/> 生徒等の実態に応じた保健教育を、PDCAサイクルに基づいて効果的に推進することができる	<input type="checkbox"/> 集団指導と個別指導、保健管理や健康相談等について、相互の関係性を明確にすることができる <input type="checkbox"/> 自校の学校教育活動全体を視野に入れて保健教育を推進することができる <input type="checkbox"/> 自校の保健教育を評価し、課題に対して専門的立場からの具体的な改善策を提案することができる	<input type="checkbox"/> 保健教育の分野において学校内で指導・助言や適切な情報提供ができる <input type="checkbox"/> 地区の養護教諭部会等、地域において実践発表を行うことができる <input type="checkbox"/> 地区の養護教諭部会等、地域において指導・助言を行うことができる <input type="checkbox"/> 研修会等で講師を務めることができる
健康相談・保健指導 ^{4) 5)}	学校保健安全法による健康相談・保健指導の位置づけ及び内容を理解し、養護教諭の専門性や保健室の機能を生かし、発達の段階に応じた健康課題に取り組もうとする。	健康相談・保健指導の基本的なプロセスを理解し、生徒等の発達の段階や現代的な健康課題の関連を踏まえた健康相談・保健指導を実施する。	個々の健康課題に関して校内の中心となり、教職員やスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の専門家(専門機関)と連携し、それらの役割を生かした組織体制づくりを行う。	健康課題解決に向けて、コーディネーターの役割を担い、学校内外の関係者と連携を図る。また、必要に応じて健康相談・保健指導を相互に関連させ、実践を深め広げる。	健康相談・保健指導の分野において学校内や地域等で指導・助言を行い、後進を育成する。
	<input type="checkbox"/> 健康相談の位置づけ及び内容がわかる ¹⁾ <input type="checkbox"/> 個別の保健指導の位置づけ及び内容がわかる ¹⁾ <input type="checkbox"/> 養護教諭の専門性や保健室の機能がわかる <input type="checkbox"/> 発達段階別の心身の健康問題の特徴がわかる	<input type="checkbox"/> 健康相談・個別の保健指導の基本的なプロセスを理解することができる <input type="checkbox"/> 生徒等の発達の段階や現代的な健康課題との関連を踏まえ、心身の観察、問題の背景の分析ができる <input type="checkbox"/> 管理職や担任等と情報を共有し、連携を図りながら実施することができる <input type="checkbox"/> 保護者と連携を図り、解決のための支援や指導ができる	<input type="checkbox"/> 個々の健康課題に関し、解決のための支援・指導を校内の中心となっていくことができる <input type="checkbox"/> 個々の健康課題を解決するため、学校医・学校歯科医・学校薬剤師やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家(専門機関)と連携し、お互いの役割を生かした組織体制づくりができる	<input type="checkbox"/> 健康課題解決に向けて、学校内外の関係者と連携を図る為、コーディネーターの役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 個々の課題に応じ、健康相談と個別の保健指導を相互に関連させた支援・指導ができる	<input type="checkbox"/> 健康相談・個別の保健指導の分野において学校内で指導・助言や適切な情報提供ができる <input type="checkbox"/> 地区の養護教諭部会等、地域において実践発表を行うことができる <input type="checkbox"/> 地区の養護教諭部会等、地域において指導・助言を行うことができる <input type="checkbox"/> 研修会等で講師を務めることができる